

# 山陽小野田市健康づくり推進協議会議事録

会議の種類	平成23年度第2回山陽小野田市健康づくり推進協議会		
日時	平成23年10月20日(木) 18:00~20:00		
場所	小野田保健センター		
出席者	小野田市医師会 厚狭郡医師会 小野田歯科医師会 厚狭歯科医師会 小野田薬剤師会 山陽小野田市ふるさとづくり協議会 山陽小野田市自治会連合会 山陽小野田市母子保健推進協議会 山陽小野田市食生活改善推進協議会 山口宇部農業協同組合 山口県看護協会小野田支部 山口県栄養士会宇部小野田支部 山口県歯科衛生士会小野田支部 山陽小野田市社会福祉協議会 (出席者数14人、欠席者数4人)	松岡 彰 (委員) 河村 芳高 (会長) 多原 康成 (委員) 嶋田 修士 (委員) 阿部 陽子 (委員) 杉本 保喜 (委員) 笠井 洋祐 (委員) 松尾 嘉子 (委員) 半矢 幸子 (委員) 笹木 伸子 (委員) 真鍋 美千代 (委員) 松岡 里絵 (委員) 村中 洋子 (委員) 小柳 朋治 (副会長)	
オブザーバ	山口県宇部健康福祉センター	厚東 邦明	
事務局	健康福祉部長 田所 栄 健康増進課技監 山根 愛子 成人保健係長 岡村 敦子 健康企画係主任技師 加藤 諭香江	健康増進課長 河合 久雄 健康増進課課長補佐 河野 静恵 健康企画係主任主事 河村 倫裕	
会議次第	1. 会長あいさつ 2. 議事 (1) 市民健康体操SOSおきよう体操について (2) 保健事業について (3) SOS健康づくり計画・元気いっぱいねたろう食育プランの進捗状況について (4) SOS健康フェスタ・食育フェスティバルについて (5) その他 3. その他		
1. 会長 あいさつ 2. 議事 事務局 委員	このたびの国体では、山口県は念願の天皇杯を取ることができた。スポーツと健康は密接に関係する。忌憚のない意見をお願いしたい。 (1) 市民健康体操SOSおきよう体操について (参加者全員で体操を実践) 保健センターでは、毎朝この体操をしている。SOS健康フェスタでも披露する予定。 高齢の人にも易しいと感じた。ぜひ広めてほしい。 (2) 保健事業について		

	資料1（保健事業について）説明
事務局	今年度より大腸がんの無料クーポン券を対象者に送付している。国の方針が8月に決まったので、送付時期は9月となった。
会長	がんは早期発見が大切。医師会も検診率向上に努めている。大腸がん検診は採便のみで痛みもないので、皆さんに受けてほしい。
委員	受診率の目標は？
事務局	大腸がん検診は、昨年度14.5%だった。クーポン対象者は20%近くまで上げたい。
委員	昨年度のがん検診全体の受診状況は、県と比べてどうか？
事務局	肺がんはH21年度は10%で県内でも最下位だったが、昨年より各医療機関で受診できるようになり、26.3%と他市並になった。その他、胃がん14.6%、子宮がん15.7%、乳がん16.3%となっている。
オブザーバ	県平均と比べて、子宮がんと乳がんは高く、胃がんと大腸がんは低いように思う。ただ胃がんは内視鏡検査を含まない数字なので、それを入れると高くなるかもしれない。
委員	高齢者インフルエンザ予防接種の例年の接種状況は？
事務局	毎年、約10,800人接種している。昨年までの新型インフルエンザは、今年度より他のインフルエンザと同じ季節性として扱われている。
会長	昨年は新型インフルエンザで大混乱だった。今年もワクチンの一部回収で、供給の不安が残る。高齢者以外も、ぜひ予防接種を受けてほしい。
委員	自殺者は全国で毎年3万人以上いる。自殺のサインを見つけるのは難しいと聞かすが、こころの健康サポーターは、どのような事をするのか。
事務局	気になる人を見つけたら専門機関につなげる役を担っていただきたい。社会福祉協議会には受講者集めの手伝いをお願いしている。また昨年引き続き自殺予防の講演会を予定しているので、ぜひ参加してほしい。
委員	自殺者の年齢構成は？
事務局	本市では40～50歳代の男性が多い。
オブザーバ	県では、こころの医療センターが相談窓口となっている。保健所にも専門員がいるが、どうやってそこまでつなげるかが問題。
	（3）SOS健康づくり計画・元気いっぱいねたろう食育プランの進捗状況について
	資料2、3（SOS健康づくり計画進捗状況）および資料4、5（元気いっぱいねたろう食育プラン進捗状況）説明
会長	SOSはボランティアの会で、私も参加している。後で説明があると思うが、現在、SOS健康フェスタに向けて活動している。行政との共同作業だが、市民に浸透させるのは、なかなか大変。
委員	食と健康は密接に関係しているが、市民に食育が浸透していないのではないか？
事務局	11月20日に、SOS健康フェスタと共催で、ねたろう食育フェスティバルを開催する。また、ちょうど本日、ねたろう食育博士養成講座の成人の部において15人が認定試験に合格した。今年はモデルケースとして関係団体に受講をお願いしたが、来年以降は一般の方に受けてもらい

	たい。また親子の部も今年は小学5～1年生と、その親の約30人が受講している。
委員	食生活改善推進員としても食育プランには協力したいが、市の管理栄養士（正規職員）が1人という状況は行政も考えてほしい。
委員	先日、栄養士会も管理栄養士を増やしてほしいと市長に陳情に伺った。
委員	学校給食センター化の話があるが、学校の栄養士を回してもらえないのか？
オブザーバ 委員	小・中学校の栄養士は県職員で、センター化されれば人数は減ると思う。センター化反対の意見には、食育や地産地消ができない等がある。センター化の例として、子供たちのセンター見学や地元農家と契約する等がある。この話は食育推進の中に組み込まれてもいいと思うし、バラバラの話をまとめるのは行政の役目ではないのか。
会長	「学校給食のあり方検討会議」では、国が推奨しているドライシステムの話など少しずつ進んでいる。委員でなくても市のホームページ等から意見が提出できる。
	（4）SOS健康フェスタ・食育フェスティバルについて
事務局	資料6～9（SOS健康フェスタ・食育フェスティバル関係）説明 チラシは班回覧をおこなった。SOS健康フェスタは2回目で、今年は食育フェスティバルとの共催となった。昨年に引き続き、皆さんの協力をお願いしたい。
委員	下関では、ふぐ鍋などを振るまっているが？
委員	食生活改善推進協議会で「元気のりのり汁」の無料試食を行なうが、予算が限られている。
事務局	予算は健康フェスタ全体で、9万円となっている。
委員	ウォーキング参加費の500円というのは？
事務局	ウォーキングはSOSスポーツ部会が中心に進めている。弁当を付けて14時からの講演会まで残ってもらおうという考えだ。
委員	観客席に食事ができるテーブルはあるのか。
事務局	観客席にはないが、ロビーの喫茶コーナーにテーブルがある。
委員	外のテントの配置は？
事務局	6梁ほど市民館入口と、芝生広場横に設置予定。
委員	体育ホール横の出入口の方が、観客の動線がスムーズなのは？
事務局	駐車場をつぶさないために、その場所を予定した。当日、中央体育館で行事があり、そちらには駐車できない。図書館まつりも同日に開催され、そちらとは相互に行き来できるように配慮している。
委員	出展内容の表にある、かむかむチェックの展示とは？
事務局	SOSスタイル部会が子供を対象に、噛む回数で色が変わるガムを使って「かむかむチェック」を行なっており、その活動報告を展示する。和食とファストフードの噛む回数の違いなども教えており、2回目には子供の噛む回数が増えていた。
	（5）その他（特になし）
3. その他	

<p>部長 あいさつ</p>	<p>これからも皆様のご協力を得ながら、検診率の向上や、健康づくり計画および食育プランの推進に努めていきたい。健康フェスタを、いいきっかけとしたい。</p> <p>第3回開催予定 日付 平成24年2月23日（木） 時間 18：00～ 場所 小野田保健センター</p>
--------------------	---